

# なつやすみに おすすめの本

## 2021年 3・4年生

『北極のムーシカミーシカ』 K913 イ

いぬいとみこ 作 瀬川康男 絵 理論社

三月の北極の雪の《家》の中から、子犬そっくりのかわいい鳴き声がきこえました。双子のほっきょくグマが生まれたのです。いろいろなことに興味を持つ知りたがりのお兄さんクマはムーシカ、いたずらっ子であっちこっち行きたがる弟グマはミーシカ。二匹は、ゆきあらしが止んで明るい夏が来たら《家》から出られるのだと、かあさんグマから聞かせられ、夏が来るのを待ちこがれていました。

ある日、ゆきあらしがおさまり、雪の窓の外が急に明るくなって、ムーシカとミーシカは《家》から外に出ます。外の世界には、アザラシや白鳥など、他の生きもの達との出会いが待っていました。



『つるばら村のはちみつ屋さん』

K913 モ 茂市久美子 作 柿田ゆかり 絵 講談社

ナオシさんはつるばら村ではちみつを作って暮らしています。ある日、ナオシさんがはちの巣を持って家に帰ると、女の子がその巣をゆずってくれと言いました。巣からとったみつろうで七夕のケーキを焼くというのです。

ナオシさんをめぐる四季おりおりのおはなしが、ほかにもたくさんあります。

『ぼくんち、キャンプ特訓中』 K913 ナ

那須正幹 作 岡本順 絵 教育画劇

いつも土日にはゴルフに行ってしまう父さんが、テントやバーベキューセットを買ってきました。冠山のふもとまで車で行って、川原でキャンプをしようと言うのです。

家族みんなで車に乗って 谷まで行き、持ってきたドーム型のテントを立てます。最初は暑かったテントも風を入れることで涼しくなりました。

ところが作ったかまどに火をつけようとしたところ、父さんも母さんもマッチを忘れてしまっていて…。

『くしゃみくしゃみ天のめぐみ』

K913 マ 松岡享子 作 寺島竜一 絵 福音館書店

むかしむかしのお話が5つ。

すごくしゃみの持ち主「くしゃみのおっかあ」、起きているときもねているときもいつもしゃっくりをしている「とめ吉」、台所のたなにのせてある物がバツバツと落ちてくるほどのおおいびきの持ち主「かん太」、音といいにおいといい、天下一品の大きなおならをするおじいさん、ひどいなまけもので大めしぐらいの「あや太郎」。

さあ、きみはどの話が好き？

『かみ舟のふしぎな旅』

K943 フ クヴェーラ=フェラミークラ 作  
ロームルス=カンデア 絵 中村浩三 訳 偕成社

おじいさんシュタニ スラウスとおとうさんシュタニスラウスと小さいシュタニスラウスの三人は、ある朝、郵便受けの中にあさっての新聞をみつけました。その新聞を折って作った紙の舟は、川に浮かべるとみるみるうちに大きくなりました。三人は紙の舟に乗りこみ、冒険へ出かけます。不思議な道具を使ってお城の牛を助けたり、舟の底に穴が開いてしまったり、新しい仲間が増えたりと、次々に起こるできごとを三人で知恵を出しあって乗りこえていきます。はたして三人は無事に家族の元へ帰ってこられるのでしょうか。

### 『大どろぼうホッツエンプロッツ』

K943 フォトフリート・プロイスラー 作  
フランツ・ヨーゼフトリップ 絵 中村浩三 訳  
偕成社

カスパールが友だちのゼッペルといっしょにおばあさんにプレゼントした歌うコーヒーひきがぬすまれてしまいました。

ぬすんだのは、くろひげもじゃもじゃ・かぎっぱな・こしには7本のかたな・手にはピストル、そして赤いぼうしをかぶった大どろぼう…。その名もホッツエンプロッツ！

### 『車のいろは空のいろ』 K913ア

あまんきみこ 作 北田卓史 絵 ポプラ社

松井さんは、ピカピカな空いろのタクシーの運転手です。タクシーの運転を通して、松井さんはいろいろな人たちにであいます。

春になったばかりの頃には、パンクしたタクシーのタイヤを見て「足がこわれたんだ」とさわぐ小さな兄弟。6月のはじめには、まいごのおかっぱの女の子。秋にはネクタイをしめた山ネコ。

タクシーと松井さんは、そんなお客さんたちを乗せて、どこまでも走るのです。

### 『ふしぎな500のぼうし』 ギン E ス

ドクター＝スース 作・絵 渡辺茂男 訳 偕成社

バーソロミューのお気に入りのぼうしは1本のはねが空にむかってピンとつたつたいていて、おじいさんもおとうさんもかぶったとても古いぼうしです。

ある日、王様の行列がとおり、沿道の者たちに「ぼうしをとれ」とふれあるきます。しかし、バーソロミューはなんととっても、次から次へとぼうしがでてくるのでした。

### 『べんけいとおとみさん』 K 913 イ

石井桃子 作 山脇百合子 絵 福音館書店

田口さんの家にはお父さん、お母さん、かずちゃん、まりちゃんのほかに犬のべんけいと、猫のおとみさんがいました。みんなとても仲がよく、犬や猫であることなんかこの田口さん一家ではちっとも気になりません。

あるとき、かずちゃんはたなばたの竹のことでおとみさんに相談しました。



### 『はしれ！ ショウガパンうさぎ』 K 933 シ

ランダル・ジャレル 作 G. ウィリアムス 絵 岩波書店

ある朝、おかあさんがメアリに作ったのは、目がほしぶどう、口はさくらんぼ、鼻はアーモンドでできたショウガパンうさぎでした。

しかしショウガパンうさぎは食べられるのがいやで逃げ出してしまう。

さあ、おかあさんとショウガパンうさぎの追いかけっこのはじまりです。

木更津市立図書館

TEL 0438-22-3190